

製品名: アリールスルファターゼ D ウサギポリクローナル抗体

カタログ番号: APRab07183

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:200-1:1000, ELISA 1:10000-1:20000
分子量	70kDa

抗原情報

遺伝子名	ARSD
別名	ARSD; Arylsulfatase D; ASD
遺伝子 ID	414.0
SwissProt ID	P51689
免疫原	抗血清はヒト ARSD 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 331-380

背景

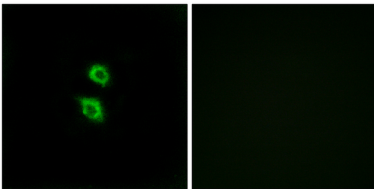
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、スルファターゼファミリーに属します。スルファターゼは、骨および軟骨基質の適切な構成に不可欠です。コードされるタンパク質は、翻訳後糖鎖修飾を受け、リソソームに局在します。この遺伝子は、X染色体上の

類似のアリルスルファターゼ遺伝子のクラスター内に位置しています。関連する擬似遺伝子が Y 染色体の擬似常染色体領域で同定されています。[RefSeq 提供、2011 年 7 月]、補因子:サブユニットあたり 1 個のカルシウムイオンを結合します。、PTM:原核生物ではセリンまたはシステイン残基、真核生物ではシステイン残基の 3-オキソアラニン (C-ホルミルグリシン、FGly と呼ばれる) への変換は、触媒活性にとって重要です。、類似性:スルファターゼファミリーに属します。、組織特異性:脾臓、腎臓、肝臓、肺、胎盤、脳、心臓で発現します。、

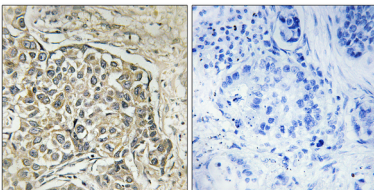
研究分野

-

画像データ



ARSD 抗体を用いた MCF7 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



ARSD 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト肺癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像。